

『どこにも』 作：ポチ子

どこにも行けやしない。

何者にだってなれない。

目の前には途切れた道。

私は、そこから動くことができない。

道なき道をかき分けることも、

一歩下がることも、

進んだことにはなるんだろう。

私はどちらにも選ぶことができない。

道を切り開く勇者にも、

後退りする臆病者にも、

私はなれない。

ただ立ち止まるだけ。

ひたすらに怖いのだ。

何をするのも、怖いのだ。

誰か、私の手を引いて、

どこかに連れて行ってくれないか。

どこでもいい。

ここでない場所なら、

どこだっていい。

『どこにも』 作：ポチ子

どこにも行けない私を、

連れて行ってはくれないか。

— 終わり —